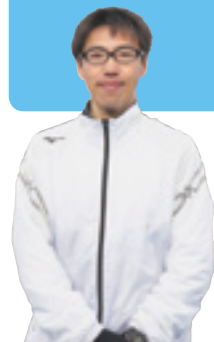


市民通訳ボランティアや市内陸上競技の指導者と共に日々トレーニングに励んでいます。



トレーニングをサポートする人々

現役の陸上競技選手を含む4人のコーチが、トレーニングをサポートしています



コーチ 山岸 正範さん

基礎や国に帰ってもできる、道具を使わない練習を中心に教えています。まだ若い選手たちなので、次につながるように指導できればと思っています。皆さんも温かく見守っていただければうれしいです。



コーチ 小淵 瑞樹さん

4カ月前の練習開始当初より動きに力強さが出てきました。食事をきちんと取っていることも大きく影響しているようです。自分も選手として頑張っているところなので、お手本になる選手でいられたらと思います。

日本語も勉強中

練習のない木曜・日曜には市内の行事や学校への訪問などで市民と交流をしています



日本語学校で日本での生活の基本的なルールやマナー、文化、日本語などを学んでいます



小学校や幼稚園を訪問。校庭を走ったり給食と一緒に食べたりして子どもたちと交流しました



正月にはもちつき大会や書初め、初詣に参加し日本の文化を体験しました



自転車安全教室を受講。日本で安全に生活するためのルールを学びました

選手たちからのメッセージ

大会まであと5カ月。前橋でトレーニングをきちんとしていきたいです。出場することが夢でした。けれど、今は出場するだけでなくいろんな国の選手と交流したいと思っています。そして、関わってくれた人たちに恩返しをしたいです。

選手一同

選手たちを誇りに思います。オリンピックを迎えるにあたってトレーニングの環境やトレーニングウェアを支給してもらい、このうえない環境でトレーニングができています。当然、メダル獲得を目標として頑張っています。

コーチ オミロク・ジョセフ・レンシオ・トビアさん



アクーン・ジョセフ・アクーン・アクーンさん
(400mハードル選手)



モリス・ルシア・ウィリアム・カルロさん
(100m選手)



グエム・アブラハム・マジュック・マテットさん
(1500m選手)



クワメヤン・マイケル・マチーク・ティンさん
(パラリンピック100m選手)

多くの支援をありがとうございます

この事業にかかる費用はクラウドファンディング型ふるさと納税(※)で募集。2月末時点で1,362万1,500円が集まりました。集まった資金は選手の滞在費や練習にかかる経費などに活用しています。

※使い道を明確にして寄付金を集めるふるさと納税

オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた長期合宿のため、本市に滞在中の南スーダンの陸上競技選手たち。南スーダンには2011年に独立した、世界で一番若い国。スポーツ施設はもちろん、インフラの整備も遅れ、選手が競技に集中して取り組める環境が整っていない状況です。そこで、本市の整備されたスポーツ施設や人的なサポート体制を活用し選手たちを支援。スポーツを通じた平和促進を目指しています。

南スーダンの選手が市内の高校生や大学生たちと合同でトレーニングをすることで、競技力や精神力の向上など、互いに多くのメリットが期待できます。

南スーダン選手団 オリパラに向け加速中

国スポーツ課 ☎027・898・6005



練習スケジュールなど詳しくはこちらから



これまでの経緯を動画で紹介